

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年12月09日

計画の名称	神奈川県市街地再開発等重点整備計画(期)														
計画の期間	令和03年度 ~ 令和05年度 (3年間)												重点配分対象の該当	○	
交付対象	神奈川県														
計画の目標	市街地再開発事業による土地の高度利用、建築物の耐震化等を進め、既成市街地の再整備を図ることにより、密集市街地等の防災性の向上と健全な都市機能の更新を進め、快適な居住環境やにぎわいのある中心市街地を創造する。														
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)		470	A	470	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R3当初		R5末
1	・ 神奈川県内の特に一体的かつ総合的に再開発を促進している地区における宅地面積のうち、4階建て以上の建築物の宅地面積の割合を、0%（R3）から 100%（R5）に増加			
	特に一体的かつ総合的に再開発を促進している地区における宅地面積のうち、4階建て以上の建築物の宅地面積の割合 （4階建て以上の建築物の宅地面積の割合）＝（4階建て以上の建築物の宅地面積）／（宅地面積計-大規模空地等面積合計）	0%	%	100%
2	・ 神奈川県内の特に一体的かつ総合的に再開発を促進している地区における全建物の建築面積のうち、4階建て以上の建築物の建築面積の割合を、0%（R3）から 97%（R5）に増加			
	特に一体的かつ総合的に再開発を促進している地区における全建物の建築面積のうち、4階建て以上の建築物の建築面積の割合 （4階建て以上の建築物の建築面積の割合）＝（4階建て以上の建築物の建築面積）／（全建物の建築面積合計）	0%	%	97%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	神奈川県	間接	組合	-	-	市街地再開発事業	厚木駅南地区 商業、住宅等 1.0ha	海老名市	■	■				470	1.16	-
											小計						470		
											合計						470		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

策定主体にて実施

事後評価の実施時期

令和6年11月

公表の方法

神奈川県県土整備局都市部都市整備課ホームページにて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

市街地再開発事業等の実施により、市街地の土地の合理的かつ健全な高度利用とともに、より一層の都市機能の更新が図られ、更には商業、業務、住宅、公共公益などのさまざまな都市機能が中心市街地に集積し、まちのにぎわいの創出に寄与している。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

今後も引き続き、市街地再開発事業により、土地の高度利用、建築物の耐震化等を促進し、既成市街地の再整備を図りながら、密集市街地等の防災性の向上と健全な都市機能の更新を進めることで、快適な居住環境やにぎわいのある中心市街地を創造していく。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	4 階建て以上の建築物の宅地面積の割合		
	最 終 目標値	100%	市街地再開発事業等の整備を計画的に行うことができたため、目標値に達した。
	最 終 実績値	100%	
2	4 階建て以上の建築物の建築面積の割合		
	最 終 目標値	97%	市街地再開発事業等の整備を計画的に行うことができたため、目標値に達した。
	最 終 実績値	97%	